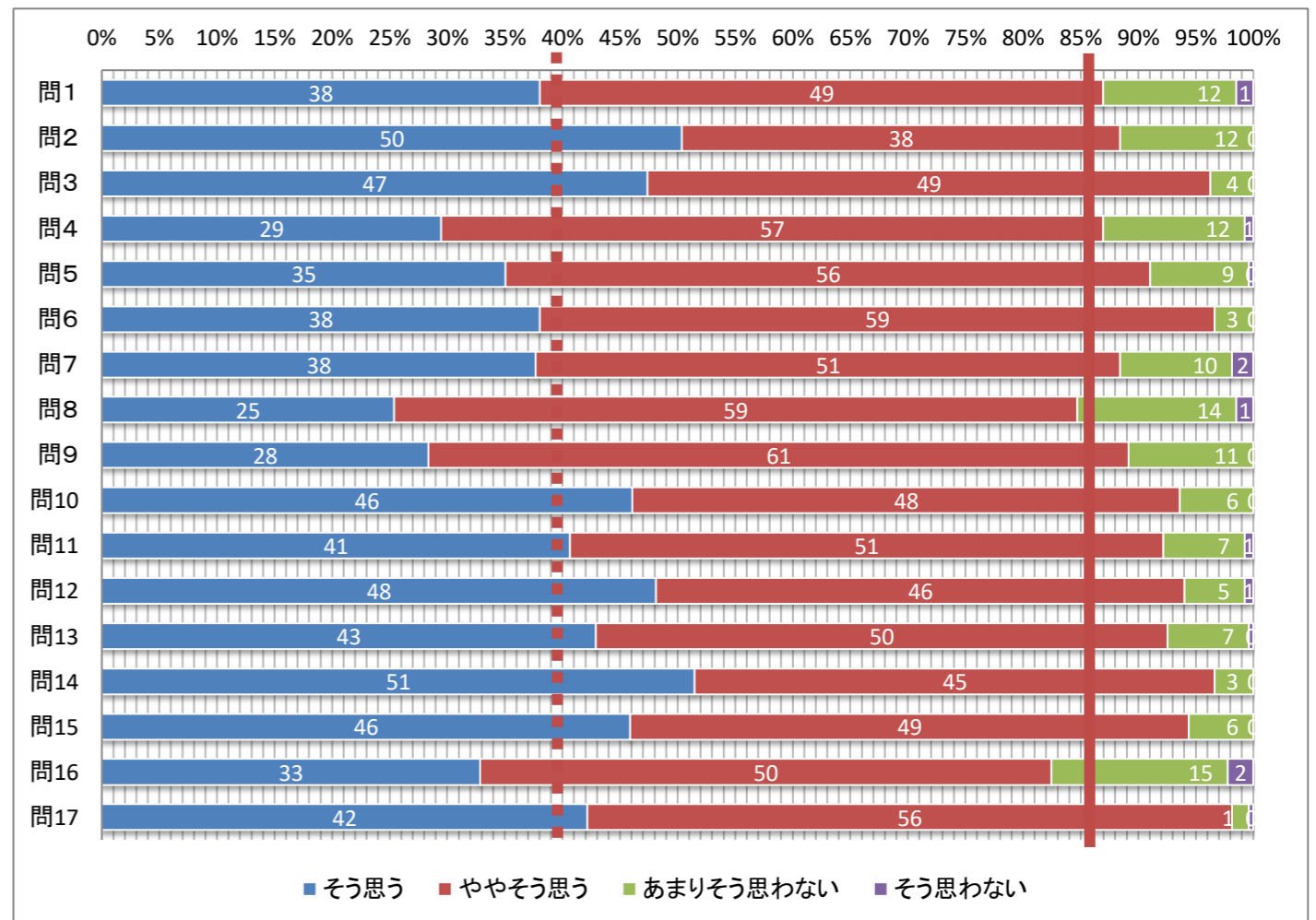


令和元年度 保護者アンケート結果報告 (総回答件数268件)

全校 項目	評価観点 ※白抜き文字は目標値を超えた項目。太字は目標値を超えず差が大きい項目。	評価 (%)			
		そう思う	ややそう思う	あまり思わない	思わない
【元気な子】	問1 ↓お子さんは、「はちなつぽ」等に留意するなど、基本的な生活習慣を身につけている	38	49	12	1
	問2 お子さんは、外で遊ぶなど、進んで体を動かしている	50	38	12	0
	問3 学校は、心身ともにバランスよく成長する子を育てようとしている	47	49	4	0
【思いやりのある子】	問4 お子さんは、元気のよいあいさつや返事をしている	29	57	12	1
	問5 お子さんは、約束や決まりを守っている	35	56	9	0
	問6 学校は、相手を尊重し協力できる子を育てようとしている	38	59	3	0
【進んで学ぶ子】	問7 ↑お子さんは、学校での学習を楽しみにしている	38	51	10	2
	問8 お子さんは、学習の習慣が身につく、学習内容がわかっている	25	59	14	1
	問9 学校は、基礎学力や思考力を基に、自ら解決しようとする子を育てようとしている	28	61	11	0
【安心・安全で信頼される学校】	問10 お子さんは、交通事故やけがなど、自らの安全に気をつけて生活している	46	48	6	0
	問11 ↓お子さんは、学級・学年の活動や異学年交流の活動等を通して、望ましい人間関係を築こうとしている	41	51	7	1
	問12 学校では、子どもたちの「ひびく歌声」を聞くことができる	48	46	5	1
	問13 ↑学校は、保護者が気軽に相談できるようにし、誠意をもって接している	43	50	7	0
	問14 学校は、PTAや地域ボランティアと連携・協力した活動を進めている	51	45	3	0
	問15 ↑学校は、児童の安全を確保する取組を進めている	46	49	6	0
	問16 学校は、清掃が行き届き、安全な学習環境をつくらうとしている	33	50	15	2
	問17 学校は、たよりやホームページ等で、学校の様子を保護者に伝えている	42	56	1	0

【アンケート集計結果】

※「縦線」は到達指標
(目標は「そう思う・ややそう思う」を合わせた回答が85%以上かつ「そう思う」が「ややそう思う」を上回ること)



<アンケート集計結果について>

○数字は問の番号 ◆は今後の課題

【元気な子】

- ①「基本的な生活習慣を身につけていると思う・やや思う」との回答は87%で昨年度並みであるが「そう思う」の割合が減った。
- ②「進んで体を動かしていると思う」との回答は50%と昨年度より4P減った。「あまり思わない・思わない」との回答も12%昨年より減ってはいるものの気になる点である。
- ③「元気な子」を育てたいという、学校の意図は大体理解を得られていると思われる。

◆質問①と②では「思う・やや思う」と回答する割合が昨年度と同じく高い一方で、「思わない等」との回答も12%以上あることから、体育学習で個に応じた指導を充実させ柔軟な体づくりを図る。また、引き続き、フッ化物洗口によるむし歯予防や感染症への対処、けがや事故の予防、災害からの身の守り方などの学習を継続し、年間を見通した健康・安全教育を進めていかなければならない。

【思いやりのある子】

- ④「あいさつや返事をしていると思う・やや思う」との回答は86%と昨年度から2P増えた。「あまり思わない・思わない」との回答は昨年と変わらない。
- ⑤規範意識に対する家庭の意識も高いので、児童への影響が大きいと思われる。
- ⑥「思いやりのある子」に向けた学校の意図は概ね理解を得られていると思われる。

◆あいさつと返事は、社会生活を営む上で大切な慣習の一つであるという認識のもと各学級で指導している。習慣化することで地域でも自然な挨拶ができる児童を育てるための指導方法や主体的取組の改善を図っていく。高い規範意識は、家庭や地域での教育があってこそその結果と考えている。学校では、教職員も、改めて時刻を守ること、節度ある言動をとることを通じて、率先垂範を心掛け、きまりを守る意識の維持を図っていききたい。高学年児童を中心に、目的をもって、委員会活動や地域での奉仕活動にも取り組んでいきたい。

【進んで学ぶ子】

- ⑦⑧「学習を楽しみにしていると思う・やや思う」との回答は89%で3P増えた。「学習内容がわかっていると思う・やや思う」との回答は84%で昨年度並みであった。⑦⑧とも「あまり思わない・思わない」との回答は昨年同様15%程度を占めている。
- ⑨「進んで学ぶ子」を育てるための学校の意図は概ね理解を得られているものの、全ての子供の可能性を引き出し切れていないということが大きな課題である。

◆「知識や技能を身につけた」と実感できていない児童が一定数いることが推察できる。各教科等の時間で、少人数指導を生かしながら、基礎・基本の内容を繰り返す方法等を更に工夫する。また、引き続き、教育活動の全体の中で、国語教育を大切に、言葉や語句、文章を理解するための話し合い等の活動を充実させ、学習の成果や効果を実感できる児童を増やしていく。

【安心・安全で信頼される学校】

- ⑩⑪⑫「安全に気をつけていると思う・やや思う」との回答は94%と昨年同様高い。また、児童の安全を確保する学校の取組についても95%と評価が高かった。一方、清潔で安全な学習環境の整備については83%と昨年度比2P減であった。
- ⑬響く歌声については「思う・やや思う」との回答が94%と昨年度比2P低かった。引き続き、幅広く歌や演奏の質が向上していくよう全校で取り組んでいきたい。

⑭⑮保護者や地域との連携協力と、学校との連絡・相談については、昨年同様、概ね学校の取組に理解を得られていると思われる。

⑯情報公開と説明責任については、98%と高い理解は得られていると思われる。引き続き、各教育活動の目的や意図を適宜伝えるように努める。

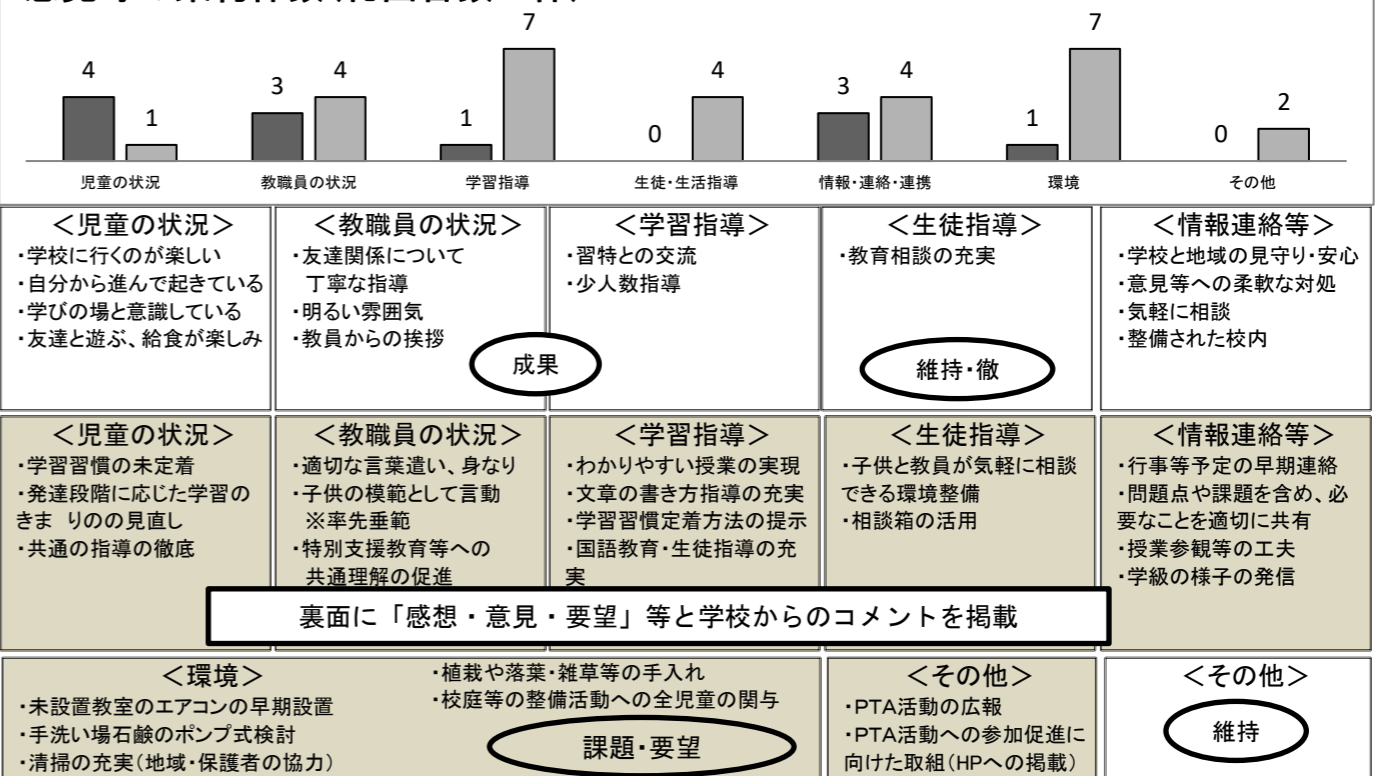
◆PTAや地域の方々と連携した防災教育を柱に、継続して安全教育に取り組んできたことで、交通安全・生活安全・災害安全に対する子供の意識の向上がうかがえた。

◆子ども110番に御協力くださっている皆さんと学校の連携を図っていききたい。

◆学校と地域とのつながりや本校の歴史と伝統を学ぶことで、ふるさと袖ヶ浦を大切にしようという心を育むための活動を今後も工夫していききたい。

◆PTA活動や懇談会、日常の連絡・相談の場面等を通じて、より一層、保護

意見等の集約件数(総回答数41件) ■成果(意見・要望等) □課題(意見・要望等)



成果(意見・要望・感想等)

【子供の状況について】

- 自分の仕事は勉強することと意欲的に学校へ通っている。
- 学校を楽しみにしている。意欲的に学校生活を過ごしている。
- 毎日友達に会うこと給食を楽しみに通っている。

【教職員について】

- 学校全体の雰囲気も先生方も落ち着いている感じがする。
- 友達関係で困ったときなど、丁寧に対応してもらっていると感じる。
- 校長先生を含め、教職員からの明るい挨拶に好感がもてる。
- 学校の雰囲気が明るく感じる。

【学習指導について】

- 習志野特別支援学校との交流が有益と思う。他学年にも機会を広げてほしい。

【生徒・生活指導について】

- 学区の公園巡回はありがたい。

【情報公開・連絡・連携について】

- 学校と保護者や地域の方々に見守られていることがわかり、安心して通わせている。
- 地域や保護者からの意見を柔軟に受け入れ、子供たちの安全や学習方法の改善に取り組んでくれていると感じる。
- 保護者が気軽に相談できるようになっていると思う。
- 不審者情報など、子供の安全に関する情報はありがたい。
- 連絡メールで、修学旅行の子供たちの様子がわかり安心した。

【その他】

- 校門付近の花壇をみて自然と明るい気持ちになります。

課題(意見・要望・感想等)

(昨年度同様の意見は★)

【子供の状況について】

- ★高学年でも、基本的な学習習慣が身につけていないように感じる。
- 注意しても、なかなか聞き入れてくれない子供がいる。

【教職員について】

- ★教員の指導力の向上、資質向上を進めてほしい。
- ★子供の模範となり、信頼される教員であってほしい。(服装・言葉づかい)
- ★いつもではないが、言葉遣いが荒くなってしまう先生がまだ見られるのが残念。時と場に応じた正しい日本語を使い、子供たちへ教えてほしい。
- ★特別支援教育への理解を深めるとともに、学校内においても、情報を共有し子供に対して共通の対応を心掛けてほしい。

【学習指導について】

- ★わかりやすい授業・板書やノート指導を行ってほしい。
- 子供の成果物への評価の工夫をお願いしたい。
- ワークテストの適切な実施と見直しを行ってほしい。(学期末のテスト量を考えてほしい)
- ★作文の書き方をわかりやすく指導してほしい。
- 通学路の危険な場所について指導してほしい。
- ★宿題(家庭学習)に取り組むことなど、学習習慣定着のために、家庭でできることを教えてほしい。
- プログラミング学習の情報が欲しい。(家庭で取り組むことがあるのか)

【生徒・生活指導について】

- ★子供が学校の先生に気軽に相談できる環境を整えてほしい。(担任以外でも)
- 昇降口の子供のための「意見箱」は活用されているのか？
- 学級の中で自分の子供がどのような立場にいるのかわからず不安なことがある。学級の様子がわかるおたよりなどを発行してもらうことはできないか。
- 子供同士でトラブルがあった時、双方の話をしっかり聞いてほしい。握手で終われでなく、しっかりと納得するようしてほしい。(思い込みで叱られたことがあった。)

【情報公開・連絡・連携】

- ★子供たちの人間関係などについて、連携して解決するために、事実関係や状況、解決の手順などを知らせてほしい。(親同士の意見の相違の解消のためにも)
- ★仕事のシフトのこともあり、翌月の予定表を20日頃に知らせてもらえるとありがたい。
- ★特設クラブ等の予定をもう少し早く知らせてほしい。突然の変更がないように、計画を立てて知らせてほしい。
- 新しい教科も導入されてきているので、授業内容の細かな提供、授業参観の内容を工夫してほしい。

【環境について】

- ★施設設備の改修を進めてほしい。(体育館の扉・トイレなど)
- 特別支援教室や図書室や空き教室にもエアコンを早期につけてほしい。
- ★トイレや教室内の手洗い場の石鹸はポンプ式が衛生的だと思う。
- ★まだ、清掃が行き届いていないと感じる。用具等の整備や整頓を進めてほしい。
- ★落葉や植栽、雑草等の手入れを進めてほしい。
- ★校庭等の草刈りや整備等を進めるにあたり、地域団体との連携や全児童での取り組みがあってもよい。

【その他】

- ★PTA活動について詳しく説明があるとありがたい。
- ★子供同伴でのPTAの活動があると、参加できる機会が増えると思う。
- ウサギの世話は、アレルギー一面や衛生上子供には難しいのではないかな。

意見等に係るコメント

【子供の状況について】

◇国語学習を大切にしながら、読む・書く・聞く・話す等の言葉によるコミュニケーションの指導をより一層充実させます。一人一人の言葉の力(話す力・書く力)を高めていく中で、学習習慣や社会生活上のマナーについての理解を促し、定着を図ります。生徒指導の面からも、指導を心掛けます。

【教職員について】

◇教職員の言動については、児童の範となるべきもので、御指摘を重く受け止め、事例研修を行いながら改善に取り組んでいきます。また、教職員の身なりについても時と場に応じた服装を心掛けてまいります。◇児童の実情を汲み取り、心に響く言動をとるなかで、教育的な指導・助言や叱責を行うことは、教員の専門性によるものと考えています。こうした専門性を高めるために、特別支援教育や人権教育等を核にしたOJTを充実させていきます。(昨年同様の課題)

【学習指導について】

◇子供たち一人一人が「わかった」「できた」という実感を持ち、満足して下校できるように、また、「〇〇がわかるようになりたい」「〇〇をできるようになりたい」という期待をもって登校できるように、講師を招聘しての授業力アップ研究も取り入れ、教師個々の授業力の向上に取り組んでいきます。◇宿題や家庭学習については、家庭における自主学習の習慣化を第一の目的と考えています。子供たちが家庭生活の中で、学習の計画的にたて、実行できるように学校でも助言てまいります。子供たちの取り組みにつきましては、各御家庭でも保護者の見えるところで行わせながら、励ましの言葉をかけていただけますようお願いいたします。◇プログラミングなど新しい学習の取り組みにつきましては、授業参観等で展開しながら発信していけるようにいたします。

【生徒・生活指導について】

◇学級担任に限らず、教育相談の先生を子供たちに紹介し、安心して相談できる雰囲気づくりに努めてまいります。◇児童の「相談箱」についてもその利用法を伝えるとともに、生徒指導担当が毎日、中身をチェックし生徒指導上の問題解決に役立てていくようにいたします。◇学級からのお手紙につきましては、各学級担任へ学校として投げかけていきますが、内容・方法につきましては検討させていただければと思います。◇トラブルが起こった時に、担任一人の体制ではなく、必ず二人以上で対応し子供たちの思いを聞き逃さない指導を心掛けます。

【情報公開・連絡・連携】

◇学校で起こる様々な問題のよりよい解決に向けて、適宜、問題の事実関係や状況等を共有することは大切だと考えています。その一つの場として、教育相談週間を活用していきます。また、日常の相談や問い合わせについても適宜対応を心掛け、相談しやすい雰囲気づくりも大切にしていきます。◇定期の配付物をとおしての連絡内容は、必要な事柄をできるだけ早く、適切に伝えられるように努めていきます。各学年の学習や行事・取組の詳細は、様々な調整を経て決めるという現状があり、先を見通しての計画立案にも限りがありますことを御理解いただければと思います。しかしながら、必要不可欠な場合もあると思いますので、その際は、学校へ御連絡ください。

【環境について】

◇特別支援学級教室(サポートルーム)へのエアコンの設置につきましては現在、市の担当に検討していただいているところです。特別室についても同様です。◇石鹸については、学校医等にも相談しながら予算や設置条件等を含めて検討します。◇昨年同様の回答となりますが、児童数や職員数が少ない中で、環境整備に充分手が届いていない現状は承知しています。授業時数が増加することもあり、環境整備にかかる人や時間を捻出することが厳しくなっています。地域や保護者の方と協力できる方法を模索していきます。◇昨年同様、市には学校施設の改善を要望し続けていきますので、今後ともPTAの活動を通して、保護者の声を集約していただくようお願いいたします。